

CSR活動の目標・実績一覧

2017年度の活動結果と2018年度の実践項目

当社グループは、企業理念の実現に向けて、グループ行動憲章に基づくCSR活動を展開しています。イビデンマネジメントシステムならびに各グループ会社のマネジメントシステムのもと、活動のマネジメントに取り組んでいます。取り組むべき課題に対する実践状況は以下のとおりです。

第一条 法令および倫理の遵守	
各国、各地域の法令および倫理を遵守し、あらゆる形態の腐敗防止に取り組み、オープンで公正な企業活動を通じて国際社会から信頼される会社をめざします。また、個人情報・顧客情報ははじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。	
2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> IMSで法令および企業倫理遵守体制の継続運用 管理者によるイビデン社会的責任管理基準に基づく職場巡視の継続実施（イビデン管理者93.7%が実施） 国内グループ会社管理者へイビデン社会的責任管理基準の理解向上 社員行動基準の教育と遵守状況モニタリングの継続実施（約6,100名参加（イビデンおよび国内関連会社社員、構内請負事業者）） 	<ul style="list-style-type: none"> IMSで法令および企業倫理遵守体制の継続運用 管理者によるイビデン社会的責任管理基準の理解向上と、基準に基づく職場巡視の実施 社員行動基準の教育と遵守状況モニタリングの継続実施
<ul style="list-style-type: none"> 管理者に向けた不正防止の教育と自職場のチェックを継続実施 監査グループによる不正行為防止の監査の継続 贈り物・接遇に関する社内ルールの再徹底 <ul style="list-style-type: none"> 事業に重大な影響を与える法令違反実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者に向けた不正防止の教育と自職場のチェックを継続実施 監査グループによる不正行為防止の監査の継続 贈り物・接遇に関する社内ルールの再徹底
<ul style="list-style-type: none"> セキュリティゾーンの継続運用による物理セキュリティの維持 情報漏えいリスクに対する教育・周知の強化 <ul style="list-style-type: none"> 重大な情報漏えいの実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティゾーンの継続運用による物理セキュリティの維持 情報漏えいリスクに対する教育・周知の強化

第二条 ステークホルダーとともに発展する会社	
ステークホルダーとともに発展していく会社として、経営の透明性を高め、コミュニケーションを通じた信頼関係を構築します。また、良い企業市民として、地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組みます。	
2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時の初動対応に関する防災管理の標準化と対応訓練の実施 労使間コミュニケーションによる協業テーマと改善課題の抽出、および課題への対応実施（イビデン） 地域の自治会などとの情報交換の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時の初動対応に関する訓練の計画的実施 継続的な労使間コミュニケーションの実施 地域との情報交換の継続実施
<ul style="list-style-type: none"> お取引先さまCSRガイドラインの改訂と周知（2017年8月改訂） お取引先さま向けのCSR調査、監査の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> CSR調査での遵守率 89.9%*重大違反事項なし（イビデン） *調査項目全体での遵守率の平均	<ul style="list-style-type: none"> お取引先さまCSRガイドラインの改訂と周知 CSR調査、監査の継続実施と改善活動フォローアップによるサプライチェーンのレベル向上の継続
<ul style="list-style-type: none"> イビデンツアー継続開催、家族・地域の学生向け工場見学会の開催 スポーツや文化イベントでの交流や、植樹活動など、地域に合わせた社会貢献プログラムの展開 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境保護活動、青少年育成活動、社会福祉・地域貢献活動、災害支援活動、各プログラムの継続的な展開 地域に合わせた社会貢献プログラムの継続的な展開

第三条 お客さまへの感動の提供	
お客さまに感動を提供するために、社会の将来にわたる要求・動向を正しく理解し、イビデクノを進化させることで、お客さまの満足が最大になる安心・安全な商品の創造やサービスを行います。 ※感動とは、お客さまの潜在的ニーズを把握して、期待以上の応えを与えること。	
2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> お客さま満足度モニター・課題抽出 <ul style="list-style-type: none"> 主要顧客から継続的な品質や持続性など側面に対する高評価の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま満足度モニター・課題抽出
※その他に、市場要求のモニター、新分野への挑戦、既存分野の改革・改善などについて内部目標を設定して取り組んでいます。	

第四条 グローバル化に対応した経営

グローバル化に対応した連結経営を推進するとともに、企業活動を行ううえで人権を含む各種の国際規範はもとより、各国、各地域の文化・慣習を尊重します。

2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> ・社員行動基準、社会的責任管理基準の改訂（2017年8月）と周知（改正詳細のE-ラーニング受講率：イビデン管理者97%） ・国内関連会社の管理者に対する社会的責任管理基準の周知 ・グループ会社間の活動課題の共有化によるグループ全体のレベル向上 ・CSR推進責任者会議での継続的な事例共有（イビデンおよび国内関連会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員行動基準、社会的責任管理基準の改訂と周知 ・国内関連会社の管理者に対する社会的責任管理基準の周知 ・海外グループ会社の活動課題把握とレベル向上 ・CSR推進責任者会議での継続的な事例共有
<ul style="list-style-type: none"> ・イビデンウェイ浸透活動の展開 ・E-ラーニングシステムを活用した、社員行動基準に関する教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> - E-ラーニング受講率92.3%（イビデンおよび国内関連会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イビデンウェイ浸透活動の展開 ・定期的な社員行動基準に関する階層別教育の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス相談窓口など各種ホットラインの継続的な啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> - コンプライアンス相談窓口相談件数 38件（イビデンおよび国内関連会社） ・啓発事例を活用した違反発生、再発の予防 ・ハラスメント委員会によるハラスメントの防止の啓発、教育および指導 ・ハラスメントに関する継続的な教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス相談窓口などホットラインの継続的な周知・啓発活動 ・ハラスメントに関する継続的な階層別教育の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・IMSのグループ会社への展開にむけた内部監査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・IMSのグループ会社への展開により、全社方針の徹底と内部統制の強化を同時並行に推進

第五条 地球環境との共存

全ての事業活動で地球環境との共存をめざし、環境と経営を両立する技術の開発と普及に努めるとともに、省エネ・省資源活動を積極的に進め、環境に優しい商品・サービスを提供します。

2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<p><省エネ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産時のエネルギーロスの最小化 ・生産休止時のエネルギー使用量の最小化 <ul style="list-style-type: none"> - エネルギー使用量原単位 前年比 11%削減（イビデン国内事業場） - CO₂排出量原単位 2012年度比 4%増加（目標未達） 	<p><省エネ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの効率運用の推進 ・省エネ新技術を既存/新規設備に導入しエネルギー使用量削減 <ul style="list-style-type: none"> -CO₂排出量原単位 2017年度比 5%削減（2022年度）
<p><資源循環></p> <p>生産変動に追従した資源の適正使用・廃棄物の削減 廃棄物の順法管理</p> <ul style="list-style-type: none"> - 固形廃棄物発生原単位 2012年度比 17%削減（目標達成） - 取水量原単位 2012年度比 28%削減（目標達成） 	<p><資源循環></p> <p>生産変動に追従した資源の適正使用・廃棄物の削減の継続 廃棄物の順法管理</p> <ul style="list-style-type: none"> - 固形廃棄物原単位 2017年度比 5%以上削減（毎年1%削減） - 取水量原単位 2017年度比 5%以上削減（毎年1%削減）
<p><環境リスク管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理委員会での関連法規制のグローバル管理実施 ・事業場からの流出・騒音・臭気に対するパイプエンド管理継続実施 <ul style="list-style-type: none"> - 重大な流出事故発生なし 	<p><環境リスク管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質関連法規制のグローバル管理による関連法規制の遵守 ・事業場からの流出・騒音・臭気による地域住民への環境影響を防止するため、パイプエンド管理レベルの強化
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県、揖斐川町と「イビデンの森」の活動10年延長の協定を締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定延長後の「イビデンの森」森林保全活動の実施

第六条 魅力的で活力にあふれる会社

魅力的で活力にあふれる会社をめざして、公平公正な評価が行われる人事制度と安全で働きやすい環境を柱に、多様性を尊重しあい、一人ひとりの能力が最大限に発揮できる、社員にとって働きがいのある企業風土をつくりまします。

2017年度の実践項目と結果	2018年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> ・Good JC活動による仕事の効率的な働き方の推進 ・残業モニタリングの強化、特に19時以降の残業や勤務インターバルの管理強化 ・女性管理者の任命 <ul style="list-style-type: none"> - 岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業に認定（イビデン） - 育児休業後の復職率94%、定着率100%（イビデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な働き方の推進と職場内コミュニケーション強化 ・実労働時間削減の取り組みの強化 ・仕事と育児・介護の両立のための支援策の充実（イビデン） ・女性向けのキャリア研修の開催、社内向け情報発信の強化（イビデン）
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定・評価者への教育コンテンツの見直しと継続的な訓練実施（イビデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理評価制度でフィードバックを定着（イビデン）
<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、徹底的に原因解析し、対策を全社へ展開 ・管理者によるリスクアセスメントの有効性確認の実施 ・爆発・火災撲滅のための総点検を実施し、問題箇所に対策実施 <ul style="list-style-type: none"> - 労働災害発生度率 0.52（イビデンおよび国内グループ会社） - 休業災害（4日以上）の労働発生件数 26件（海外グループ会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全体制を見直し、部門責任者による安全巡視の実施 ・労働災害再発ゼロをめざし、発生災害に対する本質的な対策の実施 ・現場重視の安全サークル活動を推進し、活動の有効性を向上
<ul style="list-style-type: none"> ・イビデングループ健康経営宣言 ・「Health105プラン」のもと健康づくりと健康管理活動 <ul style="list-style-type: none"> - ホワイト500認定（イビデン、タック、イビデンエンジニアリング、イビデン物産） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新中期計画「Health110プラン」のもと、衛生部会を中心とした、健康経営活動を推進